

## 第28回「戦争と医の倫理」の検証を進める会（「進める会」） 世話人会（会議報告 案）

◇日時 2014年4月27日(日) 13:00～16:00

◇場所 保団連・4階会議室

◇参加者 石川徹・西山勝夫／代表世話人、苮昭三常任世話人、住江憲勇事務局長、市野川容孝、刈田啓史郎、川嶋みどり、村林彰／各世話人（事務局）是枝一成、木村徳秀、杉浦秀明、本並省吾、宇都宮勉、小林耕治各氏

◇議長 石川代表世話人

### ◇報告及び協議事項

#### 1. 世話人会関係者の異動

各参加者より自己紹介とともに、全日本民医連是枝一成事務局次長より、遠藤隆事務局前次長の後任として、本年3月より着任の挨拶があった。また、事務局より以下の報告があった。全日本民医連瀬文雄前事務局長が同副会長に就任された。保団連宇都宮勉事務局主査の後任として本並省吾事務局次長が就任された（両氏より退任と就任の挨拶があった）。東京民医連杉浦医師部副部長は、本日限りで離任される予定であること、同千坂和彦事務局長は、肩書が前事務局長に変更。また、本日ご欠席の飯塚讓世話人は、本日の山梨民医連総会で会長交代を予定しており、それに伴い新会長に世話人交代の予定。中泉聡世話人の勤務先が変更となった。

刈田啓史郎世話人より、事務局の原文夫氏について、大阪協会定年退職に伴い、15年戦争と日本の医学・医療研究会監事として、世話人への変更の推薦があり、了承。

#### 2. 第27回世話人会（13.12.15）会議報告の確認について

報告文書を一部字句修正の上、了承。

#### 3. この間の主な活動と今後の対応について

##### （1）次期医学会総会での企画実現に向けた取り組み

- ① 「医の倫理」実行委員会設立趣意書
- ② 「医の倫理」実行委員会取り組みの概容
- ③ 実行委員名簿・賛同者名簿と就任、賛同の呼びかけ
- ④ 「医の倫理」第2回実行委員会議事概要メモ
- ⑤ 横倉日本医師会会長への要請書
- ⑥ 報道資料（京都保険医新聞、全国保険医新聞、京都新聞）

西山代表世話人から、東京での世話人会開催が前々回（2013.7.21）以来であり、この間の関西での「医の倫理」実行委員会の設立が喫緊の課題であったことから、設立に向けた経過と当会との関係など世話人会での報告・議論が尽くされないまま推移しており、改善を図りたい旨発言があった。

住江事務局長から、この間の関西における「医の倫理」実行委員会の設立準備に伴い、医学会総会関係者への対応を急遽はかる必要などから前回世話人会（2013.12.15）が大阪において開催された経緯の説明があった。またこれまで、東京での世話人会にご参加の多くが大阪での世話人会へ参加ができない状況での開催により、世話人会内部の意思疎通が十分図れなかったことについての反省とお詫びがあった。また、関西での企画実行にあたり、本会世話人各位が実行委員に名を連ねていただくなど、ご理解とご協力をいただけるよう訴えがあった。あわせて、進める会はイベント企画の実現だけでなく、

関係中央団体、政府などへの要請の実行などを掲げて会が発足した経緯をふまえ、今後ともこれらの任務遂行に努めたい旨発言があった。また、日医会長への要請の件では、日医への保団連会長としての要請を主に副会長クラスにしてきたが、「進める会」の要請について触れるいとまもない状況であったことを反省すると述べた。

上記①～⑥について事務局より概要報告があり、特に関西での実行委員会への医師会関係者や各界からの実行委員承諾、賛同が大きく広がっていることの説明などを含め了承。また、関西の実行委員会が作成中の企画宣伝ポスター案については、世話人会で出された意見を5月開催予定の実行委員会に反映されるよう、事務局から報告する。

## (2) マスコミ報道、パネル展示について

### ①韓国メディア(テレビ・新聞)が西山代表世話人の論文を大きく報道

西山代表世話人から、韓国 KBS テレビなど大手メディア報道の反響が大きかったことや、取材にあたり当会や関西での「医の倫理」実行委員会の活動についても伝えたことなど報告があった。

### ②パネルの貸し出し宣伝・普及等(川嶋世話人からの活動報告4月15日講演を含む)

川嶋世話人から資料に基づき、亀田医療大学と安房医療ネット共催の講演とパネル展示活動の報告があり、パネル60余枚が展示され、熱心な鑑賞がされたこと、展示したA2版サイズは、今回の会場の条件ではやや見にくかった。会場の条件では、2012年の京都大学での展示サイズ(畳1枚程度)の貸出も検討の要望が出された。

関連して、川嶋世話人から上記講演に際して、千葉県館山の旧海軍砲台跡にある、長期婦人保護施設「かにた婦人の村」(厚生省認可)の敷地内を見学し、「従軍慰安婦の碑」を訪れたとの報告があった。この報告を受け、今後近隣の世話人に呼びかけ、見学ツアーの企画具体化を検討する。

なお、全日本民医連是枝次長より、「慰安婦の慟哭が聞こえる」のタイトルで同施設を報じた『ちば民報』(14.4.13付)を提供いただき、メーリングリストで紹介した。

### ③パネル貸出規定の若干の見直し

4月からの消費税増税に伴い、消費税上乗せ分は8%とする。なお今後、世話人を通じて貸出する場合は、従来の規定に関わらず送料実費のみとする。

## (3) パネル集の翻訳版の作業と発行予定について

組み版がほぼ完成した中国語(明治大学分は翻訳済みだが、組み版なし)と韓国語(明治大学部分は割愛)の作業(中国語の校閲は金成民731陳列館館長に依頼する。韓国語は校閲済)を先行しつつ、英語版組み版作業を保団連事務局がすすめる。

その後、明治大学よりワード組み版に転換したデータの提供を受けることとなった。(5月24日に提供予定)。今後、三恵社の工程にそって作業を進める。(7月14日PDF(データ版下)入稿で7月30日発送。発行費用見積もりを確認)

- ①英語版→小島常任世話人が明治大学部分(6頁分)を含め翻訳完成(3月末)。組み版作業は今後。翻訳料20万円支払い済み。
- ②ドイツ語版→東北大学の窪准教授が翻訳中。組み版もほぼ完成(5月完成予定。刈田世話人より報告)。
- ③中国語版→翻訳完了。張麗氏が108/125頁。張健華氏が17/125頁支払い手続きを取る。案分支払い麗氏17万円、健華氏3万円とする。

④韓国語版→滋賀医大関係者が翻訳・組み版を完成。翻訳費用 20 万円支払い済み。

⑤韓国語版の別途出版契約について

契約書に基づき、韓国国内での独占的出版契約を 5 年間の自動更新とする韓国健康メディア協同組合白在中理事長と住江憲勇事務局長名により 2014 年 4 月 11 日付けで締結する（契約書謄本を韓国へ送付済み）。

#### （4）会計報告

①2013 年 1 月 1 日～2014 年 1 月 31 日までの収支状況について

中間報告を了承。次回世話人会には決算報告書を提出する。なお、当会には会計監査を置いていないが、保団連内では、複数担当事務局による相互チェック、会計担当事務局責任者、事務局長によるチェックと、毎年度の保団連監査による監査を経ていることから、現状の方式とする。

②2010 年賛同募金概要、2007 年収支・賛同団体募金

参考資料として事務局より報告があった。

#### 4. 日本医学会総会に向けた取り組みや今後の当会の在り方について

① 2015 年 4 月 10 日（金）東京でのシュナイダー氏特別招聘講演会の企画の具体化

シュナイダー DGPPN（ドイツ精神医学精神療法神経学会元会長）の来日日程が決まったことから、大阪（4 月 9 日午後、大阪府保険医協会 MD ホール）、京都（4 月 12 日午前、知恩院和順会館）での講演企画の一環として、都内でも開催する。講演内容は、演者の負担も考慮し大阪講演と同一の方向で調整する。

今後、「進める会」関係者・団体の協力を得て、4 月 10 日（金）夜、医師・医療関係者を中心に 100～150 人規模で開催を具体化する。会場は、御茶ノ水・全労連会館を確保済み。なお、渋谷区広尾・日赤看護大学の教室も仮予約し、東京大学は施設が 3 か月前からの予約だが、候補として検討する。なお、4 月 11 日には関西で医療関係者中心のシュナイダー氏との非公式の懇談を予定している。

東京開催の企画運営を含め、とりわけ日本精神医学史学会、日本精神神経学会関係者やハンセン氏病学会などの賛同を呼びかけるなど検討具体化する。秘密保護法に対してアピールを出した日本精神神経学会には懇談要請も検討する。なお、関西実行委員会としては、120 学会に賛同要請の予定。

関西実行委員会と、「進める会」の関係、個人参加か団体参加か、財政負担の在り方などを巡って論議があった。住江事務局長からは、当初特にそのことで詳細に議論・確認をしたことはないが、これまで 2007 年の大阪開催では、実行委員会形式であったこと、2012 年開催では、「進める会」主催として取り組んだ経過の報告があり、今回は、関西の実行委員会主催だが、「進める会」は共催とすることがのぞましいのではとの発言があった。また議長からは、両者一体となって協力・推進することの重要性が指摘された。また、財政負担では、今回の並行企画、プレ企画ともすべて財政は一本化されており、関係団体や個人賛同者による拠出・募金で賄う。

② 2014 年夏以降、日本外国人特派員協会での記者会見の企画案

西山代表世話人より、関西を中心に企画検討されている「医の倫理」実行委員会の協力依頼に基づき、「進める会」代表世話人として、日本外国人特派員協会での記者会見の企画案を検討中であることが報告された。8 月の「終戦記念日」、12 月の日米開戦記念日や 2015 年が戦後 70 年であることなど、今後の節目に合わせて、「医の倫理」実行委員会による医学会総会 2015 関西に向けた活動をアピールする。記者会見が実現できれば、現在の情勢の中で、一定のインパクトを与えうると考えられ、早めに実現に努力したいとの報告

があり、了承。

### ③「進める会」の今後のあり方

冒頭の住江事務局長の発言にあるとおり、「進める会」は、医学会総会と並行した講演会やパネル展示などのイベント企画の実現だけでなく、日本医師会、日本医学会などの関係中央団体や政府などへの要請の実行などの活動を進めてきたした経緯をふまえ、今後ともこれらの任務遂行に努める。(パネル集「戦争と医の倫理」所収(2012.10月、p114 - 115) 進める会「2012 京都宣言」「設立趣意書」等ご参照)

### ④ 5月11日(日)「医の倫理」実行委員会(関西)午後1時～4時(京都協会)

京都・仙台・金沢・和歌山・予備、の5カ所を結ぶスカイプ会議で予定されており、関係者への参加協力の呼びかけが事務局よりあった。

## 5. 今後の世話人会開催予定、その他

- (1) 次回開催予定7月20日(日)  
午後1時～4時保団連会議室

以上